

アイランドシティ整備事業について

■事業概要等

1 概要

アイランドシティ整備事業は、港湾機能の強化や快適な都市空間の形成、東部地域の交通体系の整備などを目的に、平成6年度から、航路整備で生じるしゅんせつ土砂などを活用して整備を開始。

誕生した都市空間を活用して、みなとづくり、まちづくりを進めている。

2 主体

国、福岡市、博多港開発(株)

■アイランドシティのあゆみ

- H 6年度 公有水面埋立免許取得、整備開始
- 15年度 国際コンテナターミナル供用開始
みなとづくりエリアに民間企業進出(物流施設)
- 17年度 まちびらき
- 19年度 照葉小学校 開校
- 20年度 照葉中学校 開校
(福岡市初の施設一体型の小中連携校)
- 26年度 福岡市立こども病院 開院
- 28年度 青果市場「ベジフルスタジアム」開場
- 30年度 福岡市総合体育館 開館
- 31年度 照葉北小学校 開校
- R 2年度 自動車専用道路アイランドシティ線 開通

■アイランドシティのデータ

○アイランドシティの面積 :約401.3ha
うち、みなとづくりエリア:約209.5ha
うち、まちづくりエリア :約191.8ha

○人口:約14,100人(R5.1月末)

みなとづくりエリア

平成15年度に供用開始した国際コンテナターミナルは現在、博多港の国際海上コンテナ取扱個数の約6割を扱っている。また、大規模な物流施設などの立地も進んでいる。



■国際コンテナターミナル



■物流施設



■青果市場 (ベジフルスタジアム)

まちづくりエリア

平成17年度にまちびらきを行い、こども病院や総合体育館、商業・宿泊施設などの多様な都市機能の集積が進むとともに、緑豊かな住環境や教育環境が評価され、現在、1万4千人以上が生活。



■まちづくりエリア



■こども病院



■総合体育館

